

# 1 東日本大震災にかかる震災関連講座

1	ちいさな黄色い手紙プロジェクト ～菜の花畑を描こう～			
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三			
対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度	
<p>2017年、復興支援事業として福島、ウクライナ、愛知を結ぶプロジェクトとして「ちいさな黄色い手紙プロジェクト」を実施した。福島、ウクライナの両地に土壌改善の効果を期して愛知から送られた菜の花をモチーフに、子どもたちの作品展示とワークショップを行った。ワークショップでは菜の花の絵巻物を描き、3地域を結ぶツールとした。本講座はこの絵巻物制作の体験活動になる。</p>				

2	「キャンドルづくり」 - 3.11 追悼の願いをこめて -			
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三			
対象	幼児から一般まで	受講者人数	20名程度	
<p>東日本大震災への追悼、そして日頃の防災に意識を向けて、キャンドルづくりを行います。参加者の年齢に合わせて、キャンドルの材料を溶かして、色付けをして、固まる様子を楽しんだり、トッピングの材料を制作して飾りつけを楽しめるように制作します。防災用の蠟燭はしまい込んでしまうことも多いですが、素敵なキャンドルを制作して身近に飾ることで、防災をより身近にしましょう。</p> <p>※制作したキャンドルの一部は福島県会津地方振興局が主催します復興祈念行事の一環として、3月に点灯する予定です。</p>				

3	「ろうけつ染めでランタンシェード」 - 3.11 追悼の願いをこめて -			
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三			
対象	幼児から一般まで	受講者人数	20名程度	
<p>会津地域には絵ろうそくという文化があります。伝統素材である蠟を身近に扱える技法としてろうけつ染めがあります。半紙に溶かした蠟で描画をして、色付けすることで簡易に技法体験ができます。作品は筒状に丸めてランタンシェードとして完成させます。制作した作品は福島県会津地方振興局が主催します復興祈念行事の一環として、3月に点灯する予定です。追悼の願いを込めて、会津の文化素材で描いてみましょう。</p>				

4	ぼうさいNURIE			
講師	研究員 関谷 央子			
対象	幼児・小学校低学年	受講者人数	30名程度	
<p>災害時にも困らないように、避難リュックの中に何を備えたいかを、ぼうさいNURIEのシートを見ながら考えていきます。電気・ガス・水道が止まった時の困りごとを想像しながら、シートから自分にとって必要な5つのアイテムを選んで、好きな色を塗っていきます。</p>				

5	なまずの学校			
	講師	研究員	関谷 央子	
	対象	小学生以上	受講者人数	30人程度
<p>地震などの災害で発生する様々なトラブルを出題し、トラブルを解決するのにもっともふさわしいと思う「なまずカード(アイテムカード)」を出してもらい、グループで得点を競うゲームです。このクイズは、実際に阪神・淡路大震災や東日本大震災を体験された方々へのヒアリングやアンケートを元に作られています。小学校や地域イベントで楽しみながら、防災について学び、考えることができます。</p>				

6	防災工作			
	講師	研究員	関谷 央子	
	対象	小学生以上	受講者人数	30人程度
<p>この「防災工作」の講座では「ポリ袋で雨がっぱづくり」と「新聞紙でスリッパづくり」を体験することができます。どちらか1つだけでも体験が可能です。雨がっぱは急な雨が降ってきたときだけでなく、寒い時や、地震の際の埃や塵などから体を守るためにも使えます。スリッパは、避難先でスリッパが足りない場合や、地震で家の中でガラスが飛散したり、ものが散乱していて、素足で歩くと危ない場合にも役に立ちます。身近にあるもので創意工夫する力は災害時に非常に役立つ力となります。</p>				

7	災害食づくり			
	講師	研究員	関谷 央子	
	対象	小学生高学年以上	受講者人数	30人程度
<p>災害時には、電気・ガス・水道が使えない可能性があります。災害時でも温かい食事を作れる方法を学べる講座です。アイラップという湯せんが可能なポリ袋を使用して、様々な災害食を作ることができます。例えば、アイラップの中で材料を混ぜて、湯せんにかけると蒸しパンができますし、お米を炊くこともできます。同じお鍋で、カレーの具材とお米を同時に加熱することができますので、お水の節約しながらカレーライスを作ることができます。講座を通して、災害食の作り方だけでなく、平常時の備えについても考え、学ぶことができます。</p>				

8	防災ウォークラリー			
	講師	研究員	関谷 央子	
	対象	小学生	受講者人数	30人程度
<p>学校内の防災対策についてウォークラリーシートを元に探検をしていくゲームです。対象は小学校低学年から高学年です。学校の実態に合わせて、ウォークラリーシートを作っていきます。例えば、消火器の数を数えさせたり、担架やAEDに関する質問をしたり、校内にある様々な防災対策に意識を向けるような内容を中心に質問を作成します。筆記用具や歩きながらシートに書き込めるように、画板や探検バッグなどをご準備ください。学校の広さにもよりますが、20・30分程度で取り組みます。低学年の生活科で学校探検をしたいと思いますので、それと関連させて取り組んでも良いと思います。</p>				

9	避難所運営体験			
	講師	研究員	関谷 央子	
	対象	小学生～一般	受講者人数	30人程度
<p>各小中学校は災害時の指定避難所になっており、段ボールベッドや簡易テントなど備蓄してあるところが多いと思います。これらを活用して、子どもたちだけでなく、教員や地域の大人の方も一緒に、組み立て作業を行なってみましょう。子どもたちは、災害時の困難な状況を想像したり、いざという時に自分も役に立つ存在なんだという自己有用感を高めることにもなります。学校教員にとっても自校の防災対策の見直しを図ることにつながり、また地域の人と協働することで、地域防災力の向上に役立てることもできます。</p>				

10	防災教育が地域づくりに果たす役割と意義			
	講師	研究員	関谷 央子	
	対象	一般	受講者人数	上限なし
<p>防災教育で何を学び、子どもたちはどんな力を育むことができるのか。また地域資源を活用した防災教育を実施することで、地域にとって、子どもたちにとって、どのような効果をもたらすことができるのかを、様々な防災教育事例を分析することで、防災教育の役割と意義について考えていきます。また、ワークで避難所運営について考えることで、地域での共助や防災力の向上に役立てることができます。</p>				

11	震災遺産と問い			
	講師	研究員	関谷 央子	
	対象	小学校高学年～一般	受講者人数	20名程度
<p>福島県立博物館所蔵の東日本大震災で残された様々な震災遺産を見ながら、問いを作るワークショップです。震災遺産から実際に被災された方々の想いを感じ、またそれを次世代に伝承していくために、参加者同士で問いを作り、その問いを通して震災について考えることで、学びを深めていきましょう。（※福島県立博物館との連携講座になります。）</p>				

12	学校の授業コーディネート（防災教育・キャリア教育）			
	講師	研究員	関谷 央子	
	対象	小・中・高等学校の教員	受講者人数	上限なし
<p>学校での防災教育やキャリア教育の授業に関するコーディネートをいたします。学校の実情や子どもたちの実態に合わせ、地域資源を活用した授業案を提案いたします。子どもの豊かな学びの機会を共に創造していきたいと思っております（内容については要相談）。</p>				

## 2 短期大学の教育に関連する講座

13	現代社会における産業とデザインの役割			
講師	産業情報学科	各専任教員		
対象	中学生・高校生	受講者人数	上限なし	
<p>この講座では産業情報学科で学ぶ「経営と戦略」「経済と市場分析」「マーケティングと消費者行動」「地域社会と文化」「会計と財務」「リサーチとデータ分析」「ICTと情報システム」「コミュニケーションとキャリア開発」「インターフェース」「グラフィック」「クラフト」「インテリア」「プロダクト」の各専門分野について簡単に説明し、産業情報学科で学ぶことのイメージを捉えていただきます。また各専門分野について学ぶことがこれからの社会でどのように役立っていくのかについてわかりやすく説明します。</p>				

14	食物と栄養と健康			
講師	食物栄養学科	各専任教員		
対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	50名程度	
<p>健康で生き生きと楽しく生活していくためには、いろいろな食べ物をどのように食べるかの知恵が大切です。また、からだを健康に保つための運動の仕方も知っておかなくてはなりません。</p> <p>この講座では、食物栄養学科で学ぶ、「食べ物ってなに?」、「おいしく、からだにいい食事をつくるには?」、「病気のときの食事はどうするの?」、「ウォーキングって?」など、『食べること』と運動の知恵について、お話しします。</p>				

15	幼児教育・保育と福祉			
講師	幼児教育・福祉学科	各専任教員		
対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	50名程度	
<p>幼児・児童の発達、障がい、貧困、虐待など、こどもを取り巻く環境の諸問題について目を向け、こどもの生活の質向上のために活用可能な主な方法、技術について学ぶとともに、幼児教育・保育と社会福祉（ソーシャルワーク）のそれぞれの視点に注目し、教育・社会福祉双方の現場で両者が連携することの意義と効果、今後の可能性について学びます。</p>				

16	総合的な探究の時間（探究学習）の進め方～問いの立て方から発表まで～			
講師	産業情報学科	教授	中澤 真	
対象	高校生・教員	受講者人数	40名程度	
<p>総合的な探究の時間で生徒が研究を完成させるには、適切な問いの設定から論文執筆まで様々なプロセスを理解する必要があります。本講座では、探究学習の土台となる「問いの立て方」「仮説の構築」「研究計画の設計」に重点を置き、効果的な探究活動の進め方を解説します。文献調査の方法、信頼性の高い情報源の見極め方、引用・参考文献の扱い方など、アカデミックスキルの基礎も取り上げます。さらに、研究成果をまとめるレポート作成のルールや効果的なプレゼンテーション技法など、探究活動の「出口」に関わる部分も紹介します。学校の要望に応じて、探究学習の全体像ではなく「問いの立て方」や「論文作成」など特定のプロセスに絞った講座構成も可能です。お気軽にご相談ください。</p>				

17	社会調査とは何か			
講師	産業情報学科	准教授	成澤 徳子	
対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>社会調査には、アンケート調査などの量的調査とインタビューや観察をおこなう質的調査があります。新聞その他メディアの記事をはじめ、巷にあふれる調査データを批判的に読み取り、また自身でも調査がおこなえるようになるために、リサーチ・センスを培い、リサーチ・リテラシーを獲得することは、現代社会を生きるうえで重要なスキルとなっています。</p> <p>この講座では、社会を正しく知るのに有効な方法である社会調査について、その種類と手法を解説します。アフリカや日本での講師の調査経験に基づき、フィールドワークの魅力についてもお話しします。高校生が「総合的な探究の時間」において、自ら設定した課題にもとづき地域社会の調査をおこなう際にも参考となる話題を提供します。</p>				

### 3 経済に関連する講座

18	幸福の経済学入門			
講師	産業情報学科	准教授	木谷 耕平	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	50名程度	
<p>皆さんはどの程度、生活に満足しているでしょうか？経済協力開発機構（OECD）によると、日本の生活満足度はOECD加盟国の平均よりも低くなっています。日本は戦後、高度経済成長を経て世界でも有数の高所得国となりましたが、生活満足度はそれほど上がらなかったことが指摘されています。この講座では、どのような要因が人々の生活満足度や幸福度を決めるのかなど、「幸福の経済学」の研究から得られた知見をわかりやすく紹介します。</p>				

19	日本は国の借金を返せるのか？			
講師	産業情報学科	准教授	木谷 耕平	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	50名程度	
<p>日本の政府は膨大な借金を抱えており、その額は年々増え続けています。では、なぜ日本はこれほど多くの借金を抱えることになったのでしょうか。政府の借金が増え続けることで、私たちの生活や将来にどのような影響があるのでしょうか。また、国が借金を返せなくなることはあるのでしょうか。この授業では、「国の借金」という問題を通じて、日本が直面している課題や、私たちの将来について一緒に考えていきます。</p>				

20	経済学ってなんだろう？			
講師	産業情報学科	准教授	木谷 耕平	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>「経済学」と聞くと、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。「お金」「企業」「銀行」などの言葉を思い浮かべるかもしれません。経済学では確かにこうしたテーマも扱います。しかし、実は経済学はそれよりもはるかに幅広いテーマについて研究しています。この講座では、経済学ではどのようなことを研究しているのか、最新の知見を交えつつ解説します。</p>				

21	会津の水力発電			
講師	特任研究員 石光 真			
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし	
会津地方は明治時代以来水力発電が盛んです。誇るべきその歴史を振り返ります。				

#### 4 地域問題・地場産業に関連する講座

22	文化資源の活用による地域活性化について考える			
講師	産業情報学科 准教授 成澤 徳子			
対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし	
地域文化の継承や発展は、地方再生や地域活性化に資する取組として期待されてきました。他方、文化を資源として活用する際、その主体は個人から集団、地域社会から国家、非営利組織から営利企業まで多様であり、各主体は決して一枚岩ではありません。日本の伝統的な祭りや行事、芸能の観光活用の事例をいくつか紹介し、地域文化の資源化の現状と課題について解説します。				

23	買物弱者問題の対応に向けて			
講師	産業情報学科 准教授 八木橋 彰			
対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし	
近年、商店街や住宅地近くの小売店が減少し、食料品や日用品の買物が困難な消費者が増加しています。また、この問題は、中山間地域のみならず、都市部にも拡大しています。さらに、食料品や日用品を提供する小売業は、採算性の問題を無視できないという課題が残っています。その一方で、独自の方法を生み出し、軌道に乗った事例も存在しています。さらに、皆さん自身でも何かできることはあるかもしれません。本講座では、この問題の解決に向けて、最新の事例に触れながら、小売業、地方自治体、消費者の連携体制や今後のあり方について受講生の皆様とともに考えたいと思います。				

24	地域ブランドってなんだろう？			
講師	産業情報学科 准教授 八木橋 彰			
対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし	
皆さんは、福島県と言えば〇〇な地域というように、地域に対するイメージを持っていると思います。また、その中には高い魅力を持ち、いつかは行ってみたい地域もあるかと思いますがそれはなぜでしょうか？この授業では、皆さんが置かれている状況や視点（例えば、個別事業者の視点、行政の視点、教育的な視点）に応じて、地域に対するイメージや魅力の認識にとって重要な地域ブランドや価値を高めるブランディング方法について学習します。				

25	畑で学ぼう食べものこと環境のこと			
講師	食物栄養学科	助手	阿部 桂子	
対象	幼児・小学生・中学生・一般		受講者人数	10名
<p>2026年度から第5次食育推進計画が開始される予定です。重点事項の1つとして、国民の食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大が掲げられています。</p> <p>毎日の食卓に欠かせないお味噌汁の味噌はどのように作られるかご存知ですか？材料となる大豆を実際に畑で栽培し、味噌づくりまでの食農育活動を実施中です。収穫体験や、採れたての野菜を使った料理教室等を企画し、生産者と消費者を繋げる活動を行っています。</p>				

26	人口減少社会のまちづくりを考える			
講師	特任研究員	牧田 和久		
対象	高校生・一般		受講者人数	上限なし
<p>少子高齢化の進展に伴い人口減少問題は大きくクローズアップされています。特に地方都市を含めて市町村や地域のまちづくりのあり方が問われています。空き家や耕作放棄地の増加、地域コミュニティや町内会活動の低下、独居老人世帯の増加、公共交通の赤字化、中心市街地の空洞化、商店やガソリンスタンドなどの廃業、現業の低迷と後継者不足、労働力の低下や労働環境の悪化、経済規模の縮小化など人口減少問題は多岐にわたっています。ここでは、空き家問題を中心に地域の維持・再生を図るためには、どのような展開方法が可能かについて考えてみたいと思います。</p>				

27	人生百年時代の生涯学習の役割と持続可能な地域づくり			
講師	特任研究員	森 文雄		
対象	一般		受講者人数	上限なし
<p>2050年には65歳以上世代が38%となり、超高齢化社会が到来し、労働年齢人口率（20-65歳）は45%まで低下する。高齢者の平均余命は今後も伸び続け、高齢期はさらに長くなっていく。他方、年金の支給開始年齢引き下げが予定されていることから、就労期間の延長が必要となる。特に、40-50代の時期は一生働き続けられるだけの知的能力の向上が再度必要な時期となる。一方、学校教育で修得した知識・技能の旧式化するなかで陳腐化は社会変化の進行速度に比例して急激に進行していく。よって、時代変化に適応できる研修機会であるリカレント教育（学び直し教育）の重要性がますます増大している。同時に健康寿命を延ばすための生涯スポーツ分野、教養分野と趣味3分野のバランスのとれた生涯教育の構築による自立した地域住民による地域づくりについて考える。</p>				

28	人生百年時代をどう生きるか			
講師	特任研究員	森 文雄		
対象	高校生		受講者人数	上限なし
<p>世界最高水準の平均寿命を誇る日本であるが、およそ4割以上の方が70歳以降も働きたいという希望を持っているという調査結果が新聞で報道された。人生百年時代は就労期間が長期化し、労働市場が流動化するとともに、転職や移住が増加すると予想されている。若い皆さんが人生百年時代を踏まえた人生設計を考えるための指針について、三つの大学で学び、三つの職業を経験した私の経験を踏まえて考える。</p> <p>①終身雇用や年功序列型雇用からジョブ型雇用に切り替わりつつある現在、就労期間約55年をどのように区切るか。</p> <p>②学校教育終了後、社会人となってからの学び直しが、新たなキャリア形成を可能とするが、いつ頃、どのような学び直しをしたいか。</p> <p>③生涯学習の視点から、長寿社会をどのように生きるのか。自分のライフデザインについて考えてみよう。</p>				

29	先進的中山間地域の活性化モデル			
	講師	特任研究員 森 文雄		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
<p>農業もグローバル競争の波に大きく影響される時代となっていますが、会津地方の中山間地域農業の大半は大規模化が困難な条件不利地域での農業です。また、全国的にも奥会津地域は高齢化率がかなり高い地域で、人口減少が続いています。しかし豊かな自然資源や伝統文化資源に恵まれた地域でもあります。それらの多様な資源を活用した会津中山間地域の活性化策や課題について、グリーン・ツーリズムや農業の6次化等の先進的モデル、加えて高齢者向けの社会教育と高齢者の生涯学習による自立性強化が地域の持続可能性を高めることについて考えます。</p>				

30	過疎地域における棚田オーナー制度の導入と展開方法について			
	講師	特任研究員 森 文雄		
	対象	一般	受講者人数	上限なし
<p>ワーキングホリデーの実施から棚田オーナー制度の立ち上げに至る経過について、奥会津の条件不利地域である柳津町久保田地区、喜多方市高郷町揚津地区、会津美里町関山地区、下郷町芦ノ原地区および三島町大石田地区について、それぞれの地域特性や地域資源を踏まえて、その特長や課題についての実際的な話から、まちむら交流のきずな強化による中山間地域の集落活性化について考えます。同時に、地域の将来像に対する危機感の強さの程度が、地域住民のまとまりや取り組みに対する熱意に直結することについて、具体的な事例を紹介しながら考察いたします。</p>				

31	地場産業とマーケティング			
	講師	特任研究員 森 文雄		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
<p>長い伝統を持つ地場産業の集積が全国各地に見られますが、その多くが停滞ないしは衰退傾向にあります。海外製品との競争や新たな消費者ニーズへの適応などに課題を抱えています。競争力のある製品づくりの手法として、観光客による産地の工房めぐりを導入する産業観光の手法や地域ブランド化があります。使い手と作り手の直接的な交流が産地に活力を与えると同時に、交流人口と産地を応援する関係人口が地場産業の持続可能性を高めます。その課題や問題点および可能性について、イタリアと比較しながら提案します。</p>				

32	地域とは何か：自分の人生と地域の選択			
	講師	特任研究員 森 文雄		
	対象	高校生	受講者人数	上限なし
<p>現在の我が国は、大都市への人口集中による過密地域と、地域維持のための最低人口の確保が困難になる過疎地域の両極に分かれてある。したがって、バランスのとれた国土の発展を図ることが次第に困難になっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の三区分から、それぞれの特性と地域課題およびそれらの相互依存の関連性について明確にする       <ol style="list-style-type: none"> <li>①大都市地域 ②地方都市地域 ③農山漁村地域</li> </ol> </li> <li>2. 自分自身が居住と就労の場として、三区分のいずれを選択するのかについて考察する</li> <li>3. 人生百年時代は就労期間が長期化するとともに、労働市場は流動化し、転職や移住が増加すると予想されている。人生のステージと地域区分の選択について考えてみよう</li> </ol>				

## 5 コンピュータ・情報化社会に関連する講座

33	データで世界を読み解く力 ～総合探究と情報Ⅰに役立つデータサイエンス入門～			
講師	産業情報学科	教授	中澤 真	
対象	高校生・一般	受講者人数	40名程度	
<p>総合的探究の時間や情報Ⅰで活用できるデータ分析の基礎を学ぶ講座です。国や自治体が公開している統計データ（オープンデータ）や、SNSの投稿やネット上のクチコミなど身近な文章データなどの多様なデータに対し、それぞれの特性や分析手法を解説します。公的統計サイトの利用法や表計算ソフトでのデータ整理・視覚化の基本から、文章データから傾向や感情を読み取る方法まで、実践的な内容を要望に合わせて扱います。データの種類に応じた適切な収集・分析・表現方法を学び、自分たちの問いに対する答えを導き出すプロセスを体験することで、データを根拠とした説得力のある主張の組み立て方などを身につけ、教科横断的な学習活動を支援する内容です。</p> <p>※ 実習形式での実施が効果的であるため、情報端末（PCなど）を用意できる環境での開催を推奨します。事前の準備や環境設定については、ご相談に応じます。</p>				

34	あなたを守るネットセキュリティ入門～暗号とセキュリティの不思議な世界～			
講師	産業情報学科	教授	中澤 真	
対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	40名程度	
<p>スマートフォン、インターネットショッピング、オンラインバンキングなど、日常生活のさまざまな場面でデジタルセキュリティ技術が使われています。本講座では、暗号技術の基本を体験的に学ぶとともに、偽のメールやウェブサイトによる個人情報 の詐取、データを人質にする不正プログラム、スマホやパソコンに忍び込む有害ソフトなどの脅威から身を守る方法を解説します。簡単な暗号作成や解読の体験を通して仕組みを楽しく理解するほか、怪しいメールの見分け方、不審なサイトの特徴、安全なパスワード管理など、日常生活で役立つ実践的な対策を紹介します。小中学生向けには身近な事例を中心に、高校生以上にはより技術的な内容も含め、年齢や学習段階に応じた内容構成とします。</p>				

35	ChatGPTを活用した新しい学びの形 ～教育分野での生成AIの活用			
講師	産業情報学科	教授	中澤 真	
対象	中学生・高校生・一般（主に教員の方）	受講者人数	上限なし	
<p>本講座では、教育現場で大きな変化をもたらす可能性を秘めたChatGPTをはじめとした生成AI技術について、その基本的な仕組みから実際の教育現場での活用方法、注意すべきリスクポイント、そして教育分野での将来的な展開に至るまでを対象者に 応じた内容で解説します。生成AIは授業や自己学習など様々な場面での活用に期待が寄せられていますが、そのためには生成物の傾向や特性はもちろん、ある程度の技術的な知識や安全性の確保も重要です。生成AI技術を取り入れた新しい学びの形について一緒に探求する機会にしましょう。</p> <p>※ 実習形式での実施が効果的であるため、可能であれば情報端末（タブレット、ノートPCなど）を用意できる環境での開催を推奨します。事前の準備や環境設定については、ご相談に応じます。</p>				

36	AI時代のメディアリテラシー ～スマホ・ネットとの上手なつきあい方～			
講師	産業情報学科	教授	中澤 真	
対象	小学生・中学生・高校生・一般（子どもをもつ保護者の方など）	受講者人数	上限なし	
<p>ChatGPTなどのAI技術が急速に普及する現代社会において、児童・生徒のデジタル機器との関わり方には新たなリテラシーが求められています。本講座では、スマートフォンやインターネットを単に危険と捉えて使用を制限するのではなく、発達段階に応じたメディアリテラシーの育成に焦点を当て、プライバシーの保護、情報の正しい評価方法など、日常生活でのスマホやネットの健全な利用に必要なスキルについて解説します。また、AIの基本原則とその社会的影響についても触れ、テクノロジーとのバランスの取れた関係を築くための方法についてもお話します。対象者の年齢に合わせた事例を示しつつ、可能であればPCやスマートフォンを用いた体験的な学習も実施します。</p>				

37	身近になったネットビジネスの世界			
講師	産業情報学科	教授	中澤	真
対象	高校生・一般	受講者人数	40名程度	
<p>スマホやパソコンを使っていると、自分が興味を持ちそうな商品や過去に調べた商品が広告としての確に表示されてどうしてだろうと思うことはありませんか？SNSやショッピングサイトに溢れるクチコミ情報はどこまで信用できるのかなと感じませんか？本講座では、まず消費者として日々体験しているこれらの仕組みをわかりやすく解説します。次に、企業がどのようにインターネットを活用して商品やサービスを宣伝し、顧客の情報を集め、オンラインでの販売を行っているのかを具体例を交えて紹介します。さらに、個人や小規模な事業でも始められるネット上のビジネスの例や、最新技術によって変わりつつある買い物や広告の形についても取り上げます。</p>				

38	小学生から学べるかんたんプログラミング			
講師	産業情報学科	教授	中澤	真
対象	小学生3年生以上～中学生	受講者人数	30名程度	
<p>現在の情報化社会には欠かせないコンピュータ。これらはすべてプログラムで動いています。このプログラムを作ること、すなわちプログラミングをコンピュータを使いながら学びます。内容は小学生が楽しく・わかりやすく学べるように、キャラクタを使ったクイズやゲームのプログラムを作成します。プログラムのしくみを理解できるだけでなく、筋道を立てて考える力、構成などを考える力、空間や距離などの立体認識力の向上も期待できますので、この機会にコンピュータサイエンスの世界を体験してみましょう。</p> <p>※ 算数、音楽などと関連付けた内容にすることも可能ですし、プログラムでドローンを飛ばすこと、AIを使った無人レジ用のプログラム作りもできます。</p> <p>※ 本学の施設での受講やノートPC・ドローンなどの必要機器を持参しての講義にも対応できます。また、複数回にわたる連続講座にも対応します。</p>				

39	先生のためのプログラミング教育導入ことはじめ			
講師	産業情報学科	教授	中澤	真
対象	小中学校教職員（教育関係者）	受講者人数	40名程度	
<p>小学校でプログラミング教育が2020年から必修化されましたが、どのような内容にすべきか迷っている学校がまだまだ多いようです。とくに総合の学習の時間で単発的・体験的にプログラミングに触れさせるだけでなく、算数や理科といった一般教科の中でプログラミングを関連付けた授業をするには先生方が十分に理解していることが必要になります。この講座では、小学校中学年～高学年向けのプログラミングの授業の導入から、算数や理科などでの発展的な授業展開まで、どのように進めたらよいかをお話します。また、コンピュータを利用できる環境があれば、実際にプログラミングを体験しながら学ぶことも行います。まずは、先生自身がプログラミングに触れることからはじめてみませんか？</p> <p>※ コンピュータ環境がない場合には、本学の施設を利用しての講座も可能です。また、複数回にわたる連続講座にも対応します。</p> <p>※ 担当教員の研究の一環として実施し、かつ本学近隣での開催の場合は無償で実施する場合がありますので、ご相談ください。</p>				

40	情報デザイン 基礎			
講師	産業情報学科	准教授	横尾	誠
対象	高校生	受講者人数	20名程度	
<p>最近耳にすることが多くなっている情報デザインについて、身近な例を挙げて考えてもらう講座です。一般的には情報デザインの役割は、必要な情報が効果的に受け手に届くように、情報をわかりやすく整理する手段のことを言います。デザインという言葉がつくとどうしても敷居が高くなりそうですが、実はすでに社会の中でたくさん応用されているものでもあります。それらの例をあげてわかりやすく解説して、参加者にも課題で実践してもらう講座です。</p>				

## 6 経営学に関連する講座

41	会社ってなんだろう			
講師	産業情報学科	教授	平澤 賢一	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	100名以下が望ましい	
<p>多くの会社が私たちの生活と密接な関わりを持っています。便利な商品やサービスを提供する会社や社会的貢献に注力する会社がある一方で、ときに社会的な問題を引き起こす会社もあります。大企業ばかりが目立ちますが、日本の99.7%は中小企業であり、その中に革新的な技術を持つ会社が沢山あります。中高生の皆さんの多くは、やがて何らかの形で「会社」で「働く」こととなりますが、「会社」と「企業」の違いも含め、社会における「会社」の役割を考えてみましょう。このテーマに「働くなってなんだろう」を合わせてお話しすることも可能です。一般の方には、ご所属先のニーズに合わせてテーマの相談に応じます。</p>				

42	グローバル化する企業			
講師	産業情報学科	教授	平澤 賢一	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	100名以下が望ましい	
<p>私達の身の回りには、Made in ChinaやMade in Vietnamなど、日本製以外の商品が多く見かけることと思います。現在、日本から外国へ、外国から日本へ進出する企業があります。海外に工場を作り、その国の人々を雇うのです。外国人が沢山働く企業も日本でも見られます。企業はなぜ国境を越えてビジネスを行うのでしょうか。外国人と一緒に職場ではどのような苦労があるのでしょうか。1989年の「ベルリンの壁崩壊」が東西冷戦終結につながり、市場のグローバル化が加速したともいわれますが、新型コロナウイルスの影響やウクライナ侵攻の影響でグローバル化の動きにも大きな影響が出ました。企業グローバル化に伴う諸課題について事例を交えてお話しします。中高生向けとして、「天正遣欧少年使節」をローマ教皇に謁見させる大イベントを企画し、実行させたイエズス会を題材に、グローバル戦略についてお話しすることも可能です。一般の方には、ご所属先のニーズに合わせてテーマの相談に応じます。</p>				

43	ダイバーシティ経営のABC			
講師	産業情報学科	教授	平澤 賢一	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	100名以下が望ましい	
<p>「ダイバーシティ」という言葉を耳にしたことはありませんか。「多様性」と訳されます。性別や人種や年齢などの見た目だけではなく、文化や価値観なども含め、多様な人材を積極的に活用して会社経営にも良い影響を与えようという考え方です。さらに、「許容する」意味の「インクルージョン」がなければなりません。「女性」が活躍することがダイバーシティだと思っている会社がまだ見られますが、それでは十分ではありません。日本社会では、「障がい者」の活用もまだまだです。次世代を担う皆さんとこのテーマで考える機会を持てればと願っております。一般の方には、ご所属先のニーズに合わせてテーマの相談に応じます。</p>				

44	マーケティングってなんだろう？			
講師	産業情報学科	准教授	八木橋 彰	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>マーケティングとは、消費者を理解し、それに適した効率的・効果的な製品開発や販売活動を戦略的に行うことです。こうした活動は、一般的にはビジネスでしか行われていないと思われがちですが、実は、皆さんも日常生活のさまざまな場面で無意識に実践しています。例えば、学生の皆さんであれば、テスト勉強や受験勉強を戦略的に行ったり、部活動では、対戦相手に勝つための戦略を考えているはずですが、この講座では、マーケティングについて、ビジネスの視点のみならず、日常生活の視点を交えて解説いたします。</p>				

45	流通・商業の役割			
講師	産業情報学科	准教授	八木橋 彰	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>普段、私たちはスーパーやコンビニエンス・ストアなどの小売店を通じて買物を行っていますが、そこで購買する商品はどのようにしてたどり着いていると思いますか。また、現在では、遠くの産地で取れた肉や魚を新鮮な状態で買うことができますがそれはなぜでしょうか。さらには、福島県はコンビニエンス・ストアの歴史にも深く関わりを持っていますが、それはなぜでしょうか？この講座では、こうした疑問について、日本の流通・商業の具体的な事例を踏まえながら解説いたします。</p>				

46	消費者行動の不思議－本当にあなたが選んだもの？			
講師	産業情報学科	准教授	八木橋 彰	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>我々消費者は、いろいろなお店で商品を購入していますが、その商品は本当にあなたが自分で選んだもののでしょうか？例えば、商品のパッケージデザイン、店内のPOP広告、さらには店内BGMによって、皆さんが商品を自然に手に取るように誘導し、自分で選んでいると思っていても、実はお店の戦略によって選ばれているのかもしれません。この講座では、なぜこのようなことができるのか、ということを実演を交えて解説します。</p>				

47	健康経営について考える			
講師	特任研究員	森	文雄	
対象	一般	受講者人数	上限なし	
<p>健康で、元気に、明るく、生き生きと働き続けられる職場が望まれているが、必ずしも一般的ではないことが問題である。職場での従業員は精神的ストレス、長期休業や多種類の疾患を抱えている。他方、事業者も従業員の欠勤や離職者の発生、医療費の上昇、人手不足問題、そして生産性の低下に直面している。健康経営を実現するには、経営者の一貫したリーダーシップが不可欠であり、経営者が社内外に「健康経営についての全社方針」を情報発信することが必須である。それに基づいて具体的な施策を実施することで、従業員利益と企業利益の一致を目指すのが健康経営の考え方である。少子高齢化傾向がますます進行し、人手不足社会に対応するために、従業員と雇用者の双方にメリットがあるウィンウィンの関係を導くのが健康経営である。</p>				

## 7 建築・デザインに関連する講座

48	まちを再生する99のアイデア			
講師	産業情報学科	教授	柴崎 恭秀	
対象	一般	受講者人数	上限なし	
<p>シャッター通りになってしまった商店街や街並みの景観を整備し人の賑わいを取り戻すためのアイデアを、実践例を含めてご紹介いたします。また東日本大震災を経験して分かりました街としての備えや復興のきっかけづくりの手法について、著書「まちを再生する99のアイデア」を参照しながら皆さんと一緒に考えていきます。</p>				

49	生活・空間における近現代デザイン史			
講師	産業情報学科	教授	柴崎 恭秀	
対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>19世紀末から20世紀初頭において、モダニズムをはじめとするデザイン潮流が、現在のわれわれの生活に大きな影響を与えました。ヨーロッパで起こった工芸運動や産業の変遷によって変化を遂げたわれわれの生活において、デザインがどのように取り入れられ、建築空間が変化を遂げたかをヨーロッパ、日本を比較しながら考察します。</p>				

50	ミッフィーはデ・スタイル？			
講師	産業情報学科	教授	柴崎 恭秀	
対象	高校生	受講者人数	30名程度	
<p>私たちの生活のなかには、20世紀初頭に登場した構成主義を背景としたモダニズムの影響を受けているものがたくさんあります。その先駆けとなったオランダのアートとデザインの新たな潮流「デ・スタイル」が与えた影響について、ディック・ブルーナのミッフィーとの関連で紐解きます。</p>				

51	スマホやタブレットでポスターやチラシ制作			
講師	産業情報学科	教授	高橋 延昌	
対象	高校生・一般	受講者人数	10名程	
<p>パソコンや有料のソフトウェアやアプリを使わずに、身近にあるスマホやタブレットだけで簡単かつ素敵なポスターやチラシをデザイン制作できます。そういった制作方法について実際に操作しながらワークショップ形式で学びます。なお、使用するツール自体は無料ですが、インターネットに接続する環境など条件があります。</p>				

52	カラーユニバーサルデザイン			
講師	産業情報学科	教授	高橋 延昌	
対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>高齢者や障がい者の利便性を配慮しつつ、健常者の利便性も確保することを目的としたユニバーサルデザインもしくはアクセシブルデザインといわれるデザインの考え方があります。とくに色のユニバーサルデザイン（カラーユニバーサルデザイン：UC）について、講義形式で学びます。</p>				

53	ホームページデザイン講座（初心者コース）			
講師	産業情報学科	准教授	横尾	誠
対象	高校生・一般	受講者人数	20名程度	
<p>今インターネット上にはたくさんのホームページがあります。その中にはきれいに整ったホームページ、見やすいホームページなどいろいろあります。どのようにしたら自分が作るホームページがきれいに整ったサイトに見えるだろうか。見やすくなるだろうか。そのようなホームページデザインを目指すための講座です。ホームページデザイン初心者コースです。</p>				

54	ホームページデザイン講座（経験者コース）			
講師	産業情報学科	准教授	横尾	誠
対象	高校生・一般	受講者人数	20名程度	
<p>ホームページを制作する際の作業要素として、1.情報の構造化、2.コーディング、そして3.デザインがあります。特に、2.3.は日々変化し発展しています。例えばデザインについて、近年は大小様々な形態の画面に対応する必要があり、その機器の使用場所によって必要とする情報が変化しています。ホームページデザインの今後についても考えていきたい講座です。ホームページデザイン経験者コースです。</p>				

55	身近なモヤモヤをアイデアに！デザイン思考入門			
講師	産業情報学科	准教授	沈	得正
対象	高校生・一般	受講者人数	60名程度	
<p>「デザイン思考」って聞いたことある？ デザインと聞くと、「デザイナーだけの特別な考え方」と思うかもしれませんが。でも実は、ビジネスや商品開発など、さまざまな分野で活用されているアイデア発想の方法なんです。デザイン思考では、「人の気持ちや行動をよく観察すること」で本当のニーズを見つけ、問題を解決する新しいアイデアを生み出します。たとえば、「もっと使いやすい文房具があったらいいな」と思ったことはありませんか？ デザイン思考を使えば、そんな身近な課題も解決できるかもしれません！ この講座では、デザイン思考の基本を学びながら、「人間観察」「問題の見つけ方」「アイデアの出し方」をワークショップ形式で体験します。新しいアイデアを生み出す楽しさを、一緒に体験してみましょう！</p>				

56	デザインの力で、毎日をもっと楽しく！			
講師	産業情報学科	准教授	沈	得正
対象	高校生・一般	受講者人数	60名程度	
<p>この講座では、まず「デザインって何？」という基本からスタート！ そして、「デザインと楽しさの関係」について探っていきます。後半では、「自分にとっての楽しいこと」をワークシートに書き出しながら整理し、どうすればもっと楽しい生活ができるのかを、デザインの視点から一緒に考えます！ キーワードは「考えを整理すること」と「実践すること」。やり方次第で、毎日をもっとワクワクさせる方法が見つかるかも！？ さあ、一緒に楽しさをデザインしてみましょう！</p>				

57	使いやすさのヒミツ発見！インタラクシヨndeザイン入門			
講師	産業情報学科	准教授	沈 得正	
対象	高校生	受講者人数	60名程度	
<p>皆さんの周りには、スマホやゲーム、文房具や家電など、デザインされたものがたくさんあります。でも、使いやすいものもあれば、「なんでこんなに使いにくい？」と思うものもあるはず。実は、それは「あなたのせい」ではなく、「デザインが良くないから」かもしれないんです！この講座では、ものの使いやすさに注目して、なぜあるデザインが使いやすいのか、逆に使いにくいのかを考えていきます。特に、ユーザーがものを使うときの体験（ユーザーエクスペリエンス）を左右する「インタラクシヨndeザイン原則」というデザインのルールを学びます。これを知れば、普段使っているもののデザインを「これはいい！」「これはイマイチ…」と自分で評価できるようになるはず。この講座を通して、みなさんが「使いにくいのはデザインのせいなんだ！」と気づき、デザインの面白さや重要性を感じてもらえたら嬉しいです。デザインの視点で世界を見ると、日常がもっと楽しくなるかも！</p>				

58	モノの形には秘密がある！造形の基本を学ぼう			
講師	産業情報学科	准教授	沈 得正	
対象	高校生	受講者人数	上限なし	
<p>「造形」って聞いたことありますか？簡単に言うと、形を作り上げることです。例えば、家具や食器、家電など、身の回りのモノをデザインするとき、まず頭の中で「どんな形にしようか？」とイメージしますよね。それを紙に鉛筆でスケッチして、具体的な形にしていく。これが「造形」のプロセスです！この授業では、そんな「造形」の基本を学びます。どうやって頭の中のアイデアを形にするのか、どんなデザインのルールがあるのかを、わかりやすく解説します。例えば、「使いやすさ」や「美しさ」を考えながら、どうやって形を決めていくのか、そのコツも伝授します！デザインに興味がある人も、絵を描くのが好きな人も、ぜひ申し込んでみてください。きっと「形を作る楽しさ」にハマるはずです！</p>				

59	ポスターをデザインしてみよう！			
講師	産業情報学科	准教授	北本 雅久	
対象	小学生・中学生・高校生	受講者人数	30名程度（応相談）	
<p>19世紀から現在に至るまで、人の視線を惹きつける魅力的なポスターが数多く制作されてきました。講座の前半は様々なポスターデザインを鑑賞し、情報の伝達方法を学びます。後半は実際にポスターを制作し、視覚に訴えかける紙面の構成方法を身につけます。鑑賞と制作を通して、ポスターデザインの可能性と魅力を体感していきます。</p> <p>※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。</p>				

60	ロゴをデザインしてみよう！			
講師	産業情報学科	准教授	北本 雅久	
対象	小学生・中学生・高校生	受講者人数	30名程度（応相談）	
<p>街を歩くと様々なロゴに出会えます。それらは企業や商品、イベントなどのイメージを具現化し、社会にアピールするための目印です。この講座では、イメージを周りの人に発信するロゴをデザインします。試行錯誤を重ねながら制作することで、表現力・伝達力を高めるきっかけになるでしょう。</p> <p>※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。</p>				

61	パッケージをデザインしてみよう！			
講師	産業情報学科	准教授	北本 雅久	
対象	小学生・中学生・高校生		受講者人数	30名程度（応相談）
<p>スーパーやコンビニには様々な色や形状の食品パッケージが並んでいます。どのパッケージデザインも、写真・イラストレーション・模様などの素材を巧みに用いて中身の味や香り、食感をイメージさせることで「美味しさ」を最大限に演出しています。この講座では、制作を通して「美味しさ」を伝える表現方法について学びます。</p> <p>※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。</p>				

62	レイアウトにチャレンジしてみよう！			
講師	産業情報学科	准教授	北本 雅久	
対象	高校生・一般		受講者人数	30名程度（応相談）
<p>私たちの身の回りにはチラシやパンフレット、新聞といった紙面上に様々な視覚的要素（文字・写真・イラストレーション）を綺麗にまとめて、情報を効果的に発信するツールで溢れています。この講座では実例鑑賞と制作を通して、はじめてレイアウトに挑戦する人でも魅力的な紙面づくりができる方法について学びます。</p> <p>※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。</p>				

63	図形だけでイメージを伝えてみよう！			
講師	産業情報学科	准教授	北本 雅久	
対象	中学生・高校生・一般		受講者人数	30名程度（応相談）
<p>「綺麗な写真がない」「素敵なイラストがない」そのような時でも、図形を組み合わせるだけでイメージを視覚的に表現できます。普段よく目にする単純な図形でも複数並べればパターン（模様）になります。連続した造形が生み出す一定のリズムは、見る者に安心感や統一感を与えるなど、写真やイラストとは異なる効果を発揮する素材になります。この講座では図形を用いた素材の表現・活用方法について制作を通して学びます。</p> <p>※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。</p>				

64	狙われない防犯住宅			
講師	特任研究員	牧田 和久		
対象	高校生・一般		受講者人数	上限なし
<p>全国の住宅対象の侵入盗の侵入手段では、ガラス破り、焼き破り、切り破り、カム送り解錠、サムターン回しなどが増加傾向にあり、検挙率は低下しつつあります。</p> <p>こうした犯罪に対して、狙われやすい場所とは、狙われない防犯住宅とは、どのような対策を行う必要があるのか、設計から防犯製品・設備を含めた、最近の情報を解説するお役立ち「防犯対策講座」です。</p>				

65	ユニバーサルデザインのまちづくり			
講師	特任研究員 牧田 和久			
対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし	
過去のまちづくりは、概ね成人の平均値が基準となりデザインされてきました。しかし、乳幼児から高齢者までに至る様々な人々から見ると、まちなかには多くの障害が存在し、社会参加や活動を難しくしています。高齢社会が進んできた今日、まちづくりは誰のためかが改めて問い直されています。人を区別することなく、誰にも優しいユニバーサルデザイン（UD）が普及しつつありますが、このUDのまちづくりについて考えます。				

## 8 工芸に関連する講座

66	漆の加飾技法を体験してみよう			
講師	産業情報学科 准教授 吾子 可苗			
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	15名程度（応相談）	
「漆」には多種多様な表現方法が存在します。この講座では、実際の漆芸作品を鑑賞するとともに、漆の加飾技法を体験し、漆器がどのように出来上がるのかを学びます。 ※体験は、「箔貼り」「螺鈿」「卵殻」の中から1種類となります。				

## 9 栄養・健康に関連する講座

67	糖質と健康			
講師	食物栄養学科 教授 左 一八			
対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし	
私たちの体の中で糖質がどのようなしくみで利用されているのか、利用がうまくできなくなると健康にどのような影響があるのかについて解説します。糖質と肥満、生活習慣病、寿命との関係は？糖質ダイエットはだいじょうぶなの？糖質の吸収をゆるやかにする食品（トクホ）にはどんなものがあるの？などなど、糖質と健康について、最新の科学的エビデンスに基づいて分かりやすくお話しします。				

68	食物アレルギーと体の機能			
講師	食物栄養学科 教授 漆谷 博志			
対象	中学生以上	受講者人数	上限なし	
私たちの食生活における身近な問題点として、食物アレルギーがあります。アレルギーとは、本来なら害のない物質を体が異物として認識・記憶してしまい、これらを排除しようとする免疫反応が過剰に働くことで、様々な症状が出ることを指します。このアレルギーが食べ物により引き起こされることを、食物アレルギーと呼んでいます。本講座では、食物アレルギーについて、私たちの体の構造などに焦点を当て、その仕組みについて解説などを行います。				

69	環境と生物のはなし			
講師	食物栄養学科	教授	漆谷 博志	
対象	中学生・高校生・一般		受講者人数	上限なし
<p>われわれ人間を含む生き物は、環境から様々な影響を受けて生きています。その中でも、オスになるかメスになるかが、温度やホルモンなどにより変わってしまう生き物たちがいます。このような生物は、人間の生活活動から出る様々な化学物質により影響を受けています。また、人間自身もそれらの化学物質により影響を受けることが心配されています。そこで、この様な環境要因と生物との関わりについて解説します。</p>				

70	生活習慣病のきほん～体の中で何が起きているかご存じですか？～			
講師	食物栄養学科	准教授	加藤 亮	
対象	中学生・高校生・一般		受講者人数	40名程度
<p>BMI（ビーエムアイ）、体脂肪率、HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）、悪玉・善玉コレステロール、中性脂肪、血圧など…毎年健康診断でみる検査値について、名前は知っているけど何を現しているのかイマイチわからないものはありませんか？本講座では、肥満、糖尿病、脂質異常症（高脂血症）、高血圧症について体の中で何が起きているのかを簡単に説明します。病気のしくみを知れば、検査値が何を現しているのか理解できます。さらに食事（栄養素）と病気、検査値の関係もお話しします。</p>				

71	スポーツ栄養			
講師	食物栄養学科	准教授	横田 由香里	
対象	小学生～一般		受講者人数	上限なし
<p>スポーツ時の栄養補給法について分かりやすくお話しします。（例：基本の食事、身体づくりとたんぱく質摂取、骨づくりとカルシウム摂取、貧血予防と鉄・たんぱく質摂取、コンディショニングとビタミン、エネルギー補給と糖質摂取、増量・減量、サプリメント、水分補給、試合時の食事等）</p>				

72	栄養士・管理栄養士ってどんな仕事？			
講師	食物栄養学科	助手	鈴木 理子	
対象	小学生・中学生・高校生		受講者人数	上限なし
<p>栄養士・管理栄養士の仕事について、どんなイメージがありますか？ 病院、福祉施設、学校、市役所、社員食堂、ドラッグストアなど様々な場所で活躍しています。 栄養士・管理栄養士の仕事の魅力とやりがいについて、私自身のこれまでの経験も踏まえてお話しします。</p>				

73	介護予防運動について			
講師	幼児教育・福祉学科 講師 渡部 琢也			
対象	一般（高齢者施設関係者等）	受講者人数	40名程度	
<p>超高齢者社会の中、平均寿命の延伸のみならず、健康に過ごすことのできる健康寿命の延伸が求められています。そこで生活機能向上のトレーニングおよび様々な介護予防プログラムの理論及び高齢者筋力向上等トレーニングについて学びます。理論編と実践編および理論実践編のプログラムがあります。</p>				

74	高齢化の進行と拡大する健康格差 ―健康寿命をさらに延ばすには―			
講師	特任研究員 森 文雄			
対象	一般	受講者人数	上限なし	
<p>我が国の平均寿命は男女ともにますます延びてはいるけれども、健康寿命との開きは拡大する傾向にある。その結果、健康を損ない自立した生活が困難な要介護状態の高齢者は増加する傾向にある。この課題を解決するために、地域ごとや個人ごとの健康格差が拡大する要因を明らかにすることによって、健康寿命をさらに引き上げる方策について明らかにしたい。すなわち、健康格差を社会的要因と個人的要因の両面から考察します。加えて、生涯学習と生涯スポーツの概念を用いて健康づくりについて、講師の体験や実践例をもとに、運動実技を交えながら具体的に紹介します。</p>				

75	生活習慣病と認知症を予防する運動、食事と生活習慣			
講師	特任研究員 森 文雄			
対象	一般	受講者人数	上限なし	
<p>要介護原因で一番多いのが脳血管疾患、次いで認知症の順になっています。具体的には、生活習慣病と認知症を同時に減らす必要があります。そのためには、高齢者のみならず中高年の皆さんが元気なうちから、自己管理の自覚をしっかりと持つ必要があります。健康は病院に行く前に、日ごろの心掛けで自分で手に入れるものです。特に、運動不足と偏った食事や喫煙さらに多量の飲酒を解決しなければ、健康寿命を延ばすことはできません。生活習慣を変更することは大変大きな困難を伴いますが、講師の知人や友人の病歴や死亡原因から、生死を分けた分岐点について、具体的に考えます。</p>				

76	高血圧・糖尿病・脳梗塞・腎臓病および認知症の発症原因と予防する運動習慣、食事習慣および生活行動について			
講師	特任研究員 森 文雄			
対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>生活習慣病とは、食事・運動・休養・喫煙・飲酒などの生活習慣が、その発症や進行に関与する病気のことであり、日本人の健康に大きく影響している。高血圧、糖尿病、脳梗塞及び腎臓病は代表的な生活習慣病であり、多くの高齢者にとって注意を要する病気である。認知症も生活習慣との関連性が強い。それらの病気の発症原因を正確に知ることによって、治療よりも予防に重点を置くことが望まれる。その予防策は、体力年齢や血管年齢を若く維持する運動と食事の内容とも連動している。それらの取り組みについて講演者の体験に基づいて考察する。</p>				

77	健康に暮らすことの難しさと重要性			
	講師	特任研究員 森 文雄		
	対象	高校生	受講者人数	上限なし
	<p>誰もが健康で幸福な人生を歩みたいと考えている。しかし、現実には厳しい。健康上の理由で休職や退職を余儀なくされる人は少なくない。また、生活習慣病に悩まされている中高年は実に多い。私自身、在職時の後半は人間ドッグでメタボの判定を受けていた。66歳の時に初期の胃癌手術を受けてから健康づくりに励み、現在は実年齢マイナス30歳の体力年齢と健康状態を維持している。この経験を踏まえて、健康づくりと生きがいや幸福について考える。</p> <p>①健康とは何か : ・生活習慣病患者の多さ ・食事、運動、生活習慣と健康寿命</p> <p>②生きがいとは何か : やりがいや喜びの多様性</p> <p>③どのような生き方を選択するのか : 人とのかかわり方の選択と生き方の多様性</p> <p>④幸福な人生と健康 : 幸福な人生および自立した人生実現の条件</p>			

78	メタボリックシンドローム ～最新の知識と対策～			
	講師	特任研究員 安江 俊二		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	メタボリックシンドロームについて、最新の知見を紹介し予防と対策について具体的に指導します。			

79	生活習慣病を予防し健康を維持増進するための有酸素運動などについて			
	講師	特任研究員 安江 俊二		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	40名程度
	内臓脂肪型肥満を改善し、生活習慣病を予防し、健康を維持増進するために、有酸素運動、抵抗性運動およびストレッチの理論と実践方法について具体的に指導します。			

80	老化と寿命 ～最新の知見と対策～			
	講師	特任研究員 安江 俊二		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	老化はなぜ起きるのでしょうか？ 寿命は延ばせるのでしょうか？ 老化・寿命のサイエンスの最先端の研究からえられた知見を紹介し、生活習慣病、がん、フレイル等を予防し健康寿命を延伸するための対策について勉強しましょう。			

81	酵素は偉大な働き手			
	講師	特任研究員 安江 俊二		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	生命は代謝によって維持されています。代謝の立役者が酵素です。ヒトの代謝において酵素がどのように働いているか勉強しましょう。			

82	スローステップ・スロージョギング・インターバル速歩講座			
	講師	特任研究員 安江 俊二		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	40名程度
	肥満、ねたきり、認知症、メタボ、生活習慣病等の予防および健康寿命を延ばすために、スローステップ、スロージョギング、インターバル速歩を始めましょう。スローステップ・スロージョギング・インターバル速歩は、膝や腰にやさしい運動です。特にスローステップ運動は室内でも行えるので雨の日や積雪時にも実施可能です。健康度にあった安全で有効なスローステップ・スロージョギング・インターバル速歩を指導します。			

83	「食と健康」			
	講師	特任研究員 眞鍋 久		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	食物摂取の基本、日本型食生活、糖質制限、血糖値、生活習慣病、百寿者、健康寿命、時間栄養学、生き生き活動、肥満、AMPキナーゼ、アディポネクチンなどの用語を交えながら、健康維持・増進を図るための具体策を論じます。講座内容は対象者に合わせて調整します。			

84	食育を楽しもう！			
	講師	特任研究員 鈴木 秀子		
	対象	保育所・幼稚園（幼児及び保護者）、一般	受講者人数	上限なし
	幼児・学童期に望ましい食習慣を育成し、食を通じて豊かな人間性の育成を図ることは重要です。しかし、近年は社会環境や生活様式の多様化に伴い、子どもたちが「食の体験」をする機会が減っています。日常の食を題材として、五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）を使って楽しむ食育を提案します。一緒に食育を楽しみましょう。			

85	食生活について考えよう！			
講師	特任研究員 鈴木 秀子			
対象	中学校・高校・一般	受講者人数	20名程度	
<p>日本人の健康長寿を作ってきた日本人の「食」が変わりつつあります。お米を食べる量が減り、魚を食べなくなり肉を食べるようになりました。食べている野菜の種類や食べ方が変わり、総菜や加工食品、中食や外食を利用することも多くなりました。このように「食」が変わる中で、人生100年時代を健康で生き抜く健康なからだづくりのためには、どんな食事をとるべきなのか？簡単に栄養バランスがよい食事はとれるのか？健康な食生活のヒントについてお話しします。</p>				

86	子どもの発育・発達と栄養・食生活（乳児期、幼児期）			
講師	特任研究員 鈴木 秀子			
対象	一般	受講者人数	上限なし	
<p>子どもが順調に発育・発達するためには「食」が大きくかかわっています。また、子どもの食べる力は、発育・発達に合わせて栄養素や食事形態を調整することにより育まれます。子どもの身体発育、精神・運動機能の発達、食べる機能や消化吸収能力等の発達はどのようになっているのか、離乳食や幼児食における食品選択の留意点や、提供する際にどのようなことに配慮すれば良いのかについてお話しします。</p>				

87	「食生活の自立」を応援します！			
講師	特任研究員 鈴木 秀子			
対象	中学校・高校	受講者人数	20人程度	
<p>健康で豊かな人生をおくるために食生活の自立は重要です。「おいしく食べる」「楽しく食べる」「バランスよく食べる」「自分で料理を作る」「自分の食生活を管理する」ために、また、日本人の栄養摂取の課題である減塩について一緒に学びましょう。</p>				

## 10 食品・調理に関連する講座

88	シミュレーション・あなたの食生活 ～フードモデルで楽しく知ろう栄養バランス～			
講師	食物栄養学科 准教授 加藤 亮			
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	40名程度	
<p>皆さんは食事バランスガイドをご存じですか？現在、料理の組み合わせによって栄養バランスをとる方法が推奨されています。本講座では最新の栄養指導ツールを使って、皆さんの食事のカロリーや栄養バランスを採点します。方法は100種類以上のICタグ内臓フードモデルから皆さんが普段とっている料理を選んでセンサー台に置くだけです。エネルギーや栄養素の過不足が瞬時に計算されて一目瞭然です。併せて料理の分類のしかた、バランスの良い組み合わせ方をお話しします。目指せ料理の組み合わせ名人！！</p>				

89	フードモデルとICタグを用いた新しいツールで食事バランスを学ぼう			
講師	食物栄養学科	准教授	加藤 亮	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	50名程度	
<p>精巧なフードモデルにICタグを組み込んだ新しいツール、食育SAT（さっと）システムは料理を選んでトレイに乗せるだけで、瞬時に栄養価を計算し、選んだ食事のバランスを診断します。本講座ではこの新しいツールを用いて、料理の組み合わせによる栄養バランスの取り方を学んでいただきます。目指せ！！組み合わせ名人！！やせたい人、より健康になりたい人、生活習慣病で食事療法を始めた人、どんな対象でも対応します。</p>				

90	ニーズに応じたクッキング教室			
講師	食物栄養学科	講師	室井 弘子	
対象	高校・一般	受講者人数	上限なし	
<p>健康増進のために、様々なニーズに対応したクッキング教室を開催します。</p>				

91	気軽に美味しい！健康な食生活を目指そう！			
講師	食物栄養学科	講師	水尾 和雅	
対象	一般	受講者人数	10名程度	
<p>普段、料理をするのが大変で面倒だと思うときはありませんか？それを繰り返していると気づいたら普段の食生活が乱れてしまい不健康に…なんてことも。「簡単に美味しく作ることが出来ればいいのに…」と誰しもが考えることだと思います。この講座では簡単なレシピなどを紹介しつつ、食事の組み合わせなど、どのような食生活をすれば良いのか？を一緒に考えていきます。</p>				

92	「料理のコツ」とは？調理学的視点で考える料理の科学			
講師	食物栄養学科	講師	水尾 和雅	
対象	高校生・一般	受講者人数	30名程度	
<p>「料理のコツ」と聞いてどのようなことを想像されますか？料理における「コツ」は科学的な作用が深く関係しています。皆さんが普段から何気なくやっている調理作業も実は科学的な知見に則ったものかもしれません。「料理のコツ」に潜んでいる様々な変化を調理学的視点から楽しく学んでみましょう。</p>				

93	本物のだしでおいしく減塩お味噌汁を体験しよう			
	講師	食物栄養学科	助手	阿部 桂子
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	20名程度
	<p>市販のだしの素を使用して作るお味噌汁には、意外と塩分が多く含まれていることをご存知ですか？食材からのだしの味を最初は薄いと感じても、食べ慣れることによって旨味を美味しく感じることができます。薄味を実感してみたい、料理の濃い味付けや食生活を見直したいという時には、本物のだしのお味噌汁を体験してみませんか。</p>			

94	体験しよう！食品の加工			
	講師	食物栄養学科	助手	阿部 桂子
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	16名
	<p>何気に食べている食品は、どのようにしてできているかご存知ですか？食品を加工することは、その食品の栄養価が高まったり、保存性が高まったりと、様々な利点があります。材料から味噌やジャムを加工してみませんか？実際に自分で作ってみると、いろいろな発見があります。</p>			

95	いろんな可視化			
	講師	食物栄養学科	助手	平野 真唯
	対象	幼児・小学生・中学生	受講者人数	15名程度
	<p>毎日行う手洗いについて、自分の手洗いはどれくらいきちんと行えているのかを簡単な実験を行って可視化してみることや、自分が毎日飲んでいる清涼飲料水やお菓子、カップラーメンなどにはどれくらいの砂糖や塩が入っているのか砂糖や塩を使って実際に見てみる作業をして日々の行動を見直してみましよう。</p>			

96	「大豆の魅力」			
	講師	特任研究員		眞鍋 久
	対象	中学生、高校生、一般	受講者人数	上限なし
	<p>食物としての大豆の魅力、日本人の食生活、畑の肉、アミノ酸スコア、ベジタリアン、豆腐、豆乳、味噌、納豆、機能性成分、大豆オリゴ糖、イソフラボンなどの用語を交えながら、わかりやすく解説します。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>			

97	「作物のもたらす栄養成分」			
講師	特任研究員 眞鍋 久			
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>作物は様々な魅力ある成分を、私たちに提供してくれています。作物がどのような環境下で関連成分を合成しているのかを、光合成、でん粉、グルコース、緑黄色野菜、機能性成分、フィトケミカル、ストレス付与、浸透圧、甘味、うま味、抗酸化、ポリフェノールなどの用語を交えながら、わかりやすく解説します。加えて、ヒトが関連成分を摂取した際の効用についても説明します。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>				

98	「果物の効用」			
講師	特任研究員 眞鍋 久			
対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>果物は、糖分の取り過ぎに注意すべきとされていますが、最近になって、果物の機能性が注目されるようになり、果物を意識して摂取すべきとの声が強くなっています。本講座では、いかなる果物にどのような健康効果が期待されるのかを解説します。また、加工処理した果物に付与される特性についても説明します。</p>				

99	「D-アミノ酸と食物」			
講師	特任研究員 眞鍋 久			
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>アミノ酸は、三大栄養素の一つであるたんぱく質の構成成分であることはよく知られています。その一方で、アミノ酸にはL体とD体が存在することはあまり認識されていません。一般代謝系に組み込まれるアミノ酸は、たんぱく質を構成するアミノ酸を含めて、全てL体です。ゆえに、生体内で機能しているアミノ酸はL体がほとんどです。最近になって、D-アミノ酸が生体内で重要な役割を果たしていることが明らかにされつつあります。D-アミノ酸が「コク」をもたらすなど、食の分野での意義も知られつつあります。本講座では、食との関わりを意識しながら、D-アミノ酸の特性をわかりやすく解説します。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>				

100	「呼吸と発酵」			
講師	特任研究員 眞鍋 久			
対象	中学生・高校生	受講者人数	上限なし	
<p>生物は、食物を摂取することにより生命を維持できています。生物は体内で、食物に蓄えられているエネルギーを、自身が生きるために必要なエネルギーに変換できるからです。本講座では、最初に、ヒトの体内でなされている「好気呼吸」による変換方法を、次いで「発酵」による変換方法を示します。その際、炭水化物、グルコース、酸素、水素、酸化、還元、好気、嫌気などの用語を使いながら順序立てた説明を行います。本講座をとおして、生物進化の一端が把握できるようになります。</p>				

101	「発酵食品の魅力」			
	講師	特任研究員 眞鍋 久		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	<p>塩こうじあるいは醤油こうじがブームになるなど、発酵食品が見直されています。本講座では、日々の食生活に欠かせない発酵食品を例示しながら、発酵食品の魅力を伝えます。あわせて、発酵食品の製造原理や発酵微生物についてもわかりやすく解説します。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>			

102	「水あめのおはなし」			
	講師	特任研究員 眞鍋 久		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	<p>筆者らは、南会津地域でなされている「麦芽水あめづくり」に興味を抱き、食科学に関わる調査研究を行っています。得られた研究結果の一端を、「いちからつくるあめ」(本間裕子・眞鍋 久編 農文協)と題する絵本形式の書籍で紹介しています。本講座では、「水あめ」や「あめづくり」について、この書籍に示されている内容を交えながら、わかりやすく説明します。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>			

103	腸を元気にして 心身健康に			
	講師	特任研究員 小林 未希		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	<p>私たちの腸内には、健康維持や老化防止のために働くビフィズス菌や乳酸菌などのいわゆる善玉菌、数が増えると健康を損ねたり老化を促進させたりするいわゆる悪玉菌、それらの数が多い方に加勢する日和見菌が存在します。私たちの体は食べ物からつくられているように、腸内細菌も食べたものの影響を強く受けています。そこで、腸内環境を整えることを意識して、腸にイイ食生活を一緒に考えてみませんか？</p>			

## 11 社会福祉に関連する講座

104	話し上手は聴き上手			
	講師	幼児教育・福祉学科 教授 木村 淳也		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	ご相談に応じます
	<p>話が上手な人は、まず相手の話をしっかりと聴いてから自分の意見を伝えるとといいます。自分の言葉を相手に受け取ってもらうためには、相手の言葉をしっかりと受け止めることがまず大切です。では、上手な話の聴き方とはどんなでしょう。日頃の会話を思い出しながら、上手な話の聴き方について一緒に考え、体験してみましょう。</p>			

105	意外と知らない福祉の仕事、福祉の資格			
	講師	幼児教育・福祉学科 教授 木村 淳也		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	ご相談に応じます
	「福祉」ということは良く聞かれますが、福祉の仕事ってどんな仕事があるのでしょうか。また、福祉の専門家ってどんな人なのでしょうか。知っているようで意外と知らない福祉の資格、福祉の仕事についてお話しします。			

106	造形ワークショップ			
	講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三		
	対象	一般	受講者人数	20名程度
	障がいのある方や高齢者向の方々に向けて、造形ワークショップを通して制作の楽しさを共有できればと思います。内容についてはご予算、ご要望、参加者の状況に合わせてご提案いたしますので、どうぞお問い合わせください。			

107	社会福祉ってだれのもの？			
	講師	幼児教育学科 講師 佐々木 誠二		
	対象	一般	受講者人数	内容により変更あり（応相談）
	多くの人が社会福祉という言葉を理解しています。それでは、社会福祉とは何かと聞かれると、説明することが難しいかもしれません。それは社会福祉が遠い存在だからではないでしょうか。社会福祉って何？社会福祉に携わる人って誰？社会福祉のサービスって？社会福祉をもっと身近に感じませんか。 ※具体的な内容をご相談ください。			

108	探究的学び 入門編			
	講師	幼児教育・福祉学科 講師 高田 正哉		
	対象	中学生・高校生・一般（団体含む）	受講者人数	上限なし
	現代社会において、学校教育は教職員、保護者のみで支えられるものではなくなりました。地域住民・地域団体・公共施設（図書館、美術館、博物館、公民館など）など、コミュニティの中で、コミュニティの人びとが学びあい、探究することが重要となってきています。本講義では、人びとが共に学びあえる「探究的学び」について深めていきます。ご要望等を踏まえて、「探究的学び」の事例検討や、実際の「探究的学び」の体験活動なども行うことができます。この講座は、「探究」「総合的学習」等の探究的な学びの場に向けたワークショップにも最適です。複数回にすることもできます。			

109	探究的学び 実践編			
	講師	幼児教育・福祉学科	講師	高田 正哉
	対象	高校生・一般（団体含む）	受講者人数	上限なし
<p>総合学習や、探究プロジェクトなど、「探究的学び」の取り組みが、多くの学校や地域で行われています。しかしながら、地域独自の教育実践・教育環境づくりをするためには、多くの知識や準備が求められます。本講座では、コミュニティに根ざした学校・教育づくりをしている自治体・団体・個人の方々を対象にして、具体的にどのような実践をしようのか、どのような環境づくりが望ましいのかについて、ワークショップ形式にて考えます。そして、具体的な教育実践・教育環境づくりをするところまで目指します。この講座は、「探究」「総合的学習」等の探究的な学びの場に向けたワークショップにも最適です。複数回にすることもできます。</p>				

110	探究的学び 調査編			
	講師	幼児教育・福祉学科	講師	高田 正哉
	対象	一般（団体含む）	受講者人数	上限なし
<p>本講座は、「探究的学び」による学校・教育づくりをしている自治体・教育委員会・団体へ向けたものです。現在、子どもたちや地域住民が協働して学びの場づくりをする実践が増えてきています。そこで重要となるのが、子どもや地域住民の学びの学びの場の設計です。どのようなコミュニティで、どのような人たちと対話し、学んでいくか。その学びの場づくりで、学びの質が変化します。本講座では、利用者インタビュー、地域でのフィールドワーク等を踏まえた調査法について講義します。調査法を理解し、実践を組み立てることまでのプロセスづくりを目指します。</p>				

111	高齢者の生きる力を構成する、健康力。経済力とつながる力を強める方策について学ぶ生涯学習			
	講師	特任研究員	森	文雄
	対象	一般	受講者人数	上限なし
<p>団塊の世代全員が後期高齢者となって、高齢者の自立した生活を送るための生きる力を強めるための施策が一層重要になっている。高齢化の進行とともに、高齢者の一人世帯の社会的孤立が孤独死の増加を招いている。その対策として、健康寿命の拡大による要介護期間の短縮、地域とのつながりや支え合いの仕組みづくり、長寿命化に対応できる経済的な備えの確保策等が総合的に必要である。これらの方策に対する気づきの促進を図る啓発活動について、具体的な事例に即して生涯学習や社会教育の観点から考察する。</p>				

112	年金、健康保険、介護保険のイロハ			
	講師	特任研究員	石光	真
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
<p>短大で社会保障論を講ずる教員が、年金、健康保険、介護保険のイロハを解説します。私自身父母の介護と看取りを経験しています。また、最近退職したので、退職にともなう手続きや生活設計についても、経験から語ります。どうぞお付き合いください。</p>				

113	施設内虐待を考える～なぜ援助者が虐待に走るか、その防止策と対策～			
	講師	特任研究員 市川 和彦		
	対象	一般	受講者人数	50名程度
<p>2011年6月障害者虐待防止法が成立し、福祉各領域における虐待の防止が、法、制度的には整いましたが、虐待といわれる適切な関わりとはなにかを知ること、虐待をなくすためには利用者との適切な関わり方を知ることが大切です。本講座では虐待という行為とは何かを学び、事例検討、ロールプレイ等の演習を通して具体的防止策、対策について学びます。</p>				

114	利用者と福祉援助者のメンタルヘルス～タッチングケア(触れる関わり)と怒りのセルフコントロール～			
	講師	特任研究員 市川 和彦		
	対象	一般	受講者人数	50名程度
<p>主に言葉によるコミュニケーションが困難な重度の知的障がい児者へのタッチング・ケアなどによるコミュニケーションの実際“触れる関わり”と、親・保育者・援助者の感情、特に怒りに対するセルフコントロールについて学びます。</p>				

115	暴力防止サポート			
	講師	特任研究員 市川 和彦		
	対象	一般	受講者人数	20名程度
<p>突発的な暴力や他傷に対する緊急避難のための技術も大切ですが、暴力や他傷に至る前の対応、普段の関わり合いが大切です。知的障がい者施設等における利用者さんからの暴力・他傷を援助者はいかに理解し対応したら良いかを実技やロールプレイを通して学び、トレーニングします。</p>				

116	障がい児者虐待防止ファシリテーター養成講座			
	講師	特任研究員 市川 和彦		
	対象	一般	受講者人数	20名程度
<p>虐待防止のためには、それぞれの施設、地域などの身近な場所で小集団によるワークショップ型の取組が有効です。本講座では、ワークショップを企画し、虐待について語りロールプレイなどを通して具体的対策についてリードすることのできるファシリテーターの養成を行います。障がい者当事者の方もぜひご参加ください。</p> <p>10:00～17:00までのワンデーで実施します。申し込まれた方の都合に合わせて日程を調整します。〔(土)、(日)〕</p>				

117	元気が出るダンス・ワークショップ			
	講師	特任研究員 市川 和彦		
	対象	一般	受講者人数	20名程度
<p>知的障がいや自閉症のある方たち、またはシニアの方（老化防止、認知症や軽度認知症MCI予防）を対象としたダンス教室（ポップさんダンス教室）です。とダンスを通じた交流をします。音楽に合わせて動きをシンクロさせる「シンクロダンス」やヒップホップとエアロビックをあわせたダンス「ダンスビック」で楽しく体を動かします。運動不足解消にも最適です。所要時間は大体60分～90分です。汗をかきますので、着替え、タオル、上履き、のみものをご持参ください。障がいのある方、ご家族、支援者のかたふるってご参加ください。</p>				

118	障がい者施設における身体拘束の防止・対策			
	講師	特任研究員 市川 和彦		
	対象	一般	受講者人数	50人
<p>必要のない無意味な、安易に行われる身体拘束は虐待になります。拘束したくないけど拘束しなければならない（危険だから）…というジレンマに悩まれている援助者の方は少なくないと思います。拘束しないで済む方法はないか、まず組織として徹底的に検討することが求められています。その考え方具体的方法について考えていきます。</p>				

119	子どもへの性暴力（性的虐待）の理解と対策～援助者がなぜ性暴力に至るのか～			
	講師	特任研究員 市川 和彦		
	対象	一般	受講者人数	50人
<p>子どもに対して行われる最も卑劣な性暴力（性的虐待）がなぜ発生するのか、援助者の心理的側面から考えるとともに、援助者自らの子どもとの関わり方について改めて振り返る機会とします。また、現場における未然防止のための環境や風土づくり、発生した場合の対応について考え、子どもや保護者、援助者にとっても安心できる温かい風土を作るためにはどうしたら良いかを考えます。</p>				

## 12 幼児・児童に関連する講座

120	「個別育児相談」			
	講師	幼児教育・福祉学科 教授 郭 小蘭		
	対象	一般（乳幼児の保護者）	受講者人数	5名程度
<p>子育ての知識が普及してきている今、保護者の子どもに対する理解が深まりつつ、同時に自分の理想像で子どもをみたり、子どもの気持ちがわかっていない自分自身を責めたりしている保護者。そういう時に身近に「うちも」や「大丈夫だ!」と言ってくれる誰かがいるとどんなに心強いです。私はその身近な存在の一人として保護者の声を聴き、個別相談に応じます。「個別育児相談」を企画してくれる所にいきます。</p>				

121	保育実践のおもしろさについて			
講師	幼児教育・福祉学科	教授	郭 小蘭	
対象	高校生	受講者人数	20名	
<p>自分の興味があるものや友達にかかわりをもちながら、ありのままの自分で環境とのぶつかりを通して成長していく子どもの映像を視聴します。そして、映像の事例を保育者の仕事内容（子どもとのかかわり方および環境構成）という視点から解説します。講座を通して、高校生が保育への興味・関心を持てるような講座です。</p>				

122	音で遊みましょう			
講師	幼児教育・福祉学科	教授	河原田 潤	
対象	中学生・高校生	受講者人数	50名程度	
<p>「音を出す」というのは、楽器等の道具を扱うだけではありません。私たちの日常の身の回りにある物で、意外な物から意外な音が出せたら楽しいですね。そんな音の出る物を作って鳴らして遊んでみませんか？新たな発見があるかもしれませんね。保育者として、子どもと良い時間を共有するきっかけはそんな所にもあるかもしれませんよ。そして音で遊びながら、一緒に保育の事も学びましょう。</p>				

123	幼稚園の先生・保育士を目指す生徒さんたちへ			
講師	幼児教育・福祉学科	教授	河原田 潤	
対象	中学生・高校生	受講者人数	上限なし	
<p>「先生」という言われる職業は数あれど、その中で保育園・幼稚園の「先生」という立場が一番重要であると思います。それは幼少時に経験することが、その人の一生を左右するきっかけになることも多いからです。</p> <p>子どもは「遊ぶ」事から色々な事を学びます。本講座は「遊ぶ」事を通して、将来幼稚園の先生、保育士を目指すために必要な技術や知識と一緒に学び、これからの目標を共に考える場にしたいと考えます。学校単位でも歓迎します。</p>				

124	発達理解にもとづくティーチャーズ・トレーニング～理論と事例で深める保育実践～			
講師	幼児教育・福祉学科	准教授	吉田 亜矢	
対象	保育教諭 幼稚園教諭 保育士	受講者人数	応相談	
<p>乳幼児期の発達理解および行動理論を基盤としたティーチャーズ・トレーニングです。</p> <p>子どもの行動を理解するための理論的枠組みを整理し、具体的な事例検討を通して実践への応用を図ります。</p> <p>理論を踏まえうえて現場の事例を検討することで、対応の根拠が明確になり、保育者間で共有可能な支援の視点を育むことを目的とします。</p>				

125	子育て相談			
	講師	幼児教育・福祉学科 准教授 吉田 亜矢		
	対象	乳幼児の子どもをもつ母親	受講者人数	5名程度(応相談)
<p>乳幼児期の子どもをもつ保護者を対象とした子育て支援の一環として実施します。</p> <p>乳幼児期の発達理解および関わり方に関する基礎的な情報提供を行うとともに、参加者同士が悩みや経験を共有できる対話の場を設け、安心して語り合える温かな雰囲気の中で実施いたします。</p> <p>なお、ご要望に応じて個別相談にも対応可能です。</p>				

126	ペアレント・トレーニング 親子の笑顔育てる子育て講座～理論にもとづくやさしい関わり方～			
	講師	幼児教育・福祉学科 准教授 吉田 亜矢		
	対象	乳幼児の子どもをもつ母親	受講者人数	応相談
<p>乳幼児期は、心とことば、そして人との関わり方の土台が育つ大切な時期です。</p> <p>本講座では、日々の子育ての中で感じる「どう関わればいいの?」「どう伝えたらいいの?」という疑問に対して、発達の理論にもとづいたやさしい関わり方をわかりやすくお伝えします。特別な準備は必要ありません。毎日の生活の中で実践できる「声かけ」や「ほめ方」、「気持ちの受け止め方」を具体的に学びます。</p> <p>子どもの行動の背景を理解することで、親子の笑顔が増える関わりへとつなげていきます。</p>				

127	発達障害児・知的障害児の発達相談			
	講師	幼児教育・福祉学科 准教授 五十嵐 一徳		
	対象	障害児を育てている保護者	受講者人数	5名程度(応相談)
<p>この講座では、発達障害や知的障害のある子どもを育てている保護者の方を対象に、子育ての悩みを共有し、子育てについて一緒に考えて考える場になればと思っております。どのような方法で行うかは相談の上決めていきます。</p>				

128	みがいて、みがいて!			
	講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三		
	対象	幼児、小学生	受講者人数	25名程度
<p>道端に落ちている石。彼らはでこぼこ、ざらざらしています。そして普段目にする彼らの色は、本当の色ではありません。丁寧に磨き上げると、スベスベ、つるつる、ピカピカと質感が変わっていきます。そして、ピカピカと磨き上がったとき、彼らは本当の色味を見せてくれます。石のもつ素材感、魅力を、皆さんの手で引き出してあげましょう!</p>				

129	点で描く、プラネタリウム			
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三			
対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度	
<p>夜空に輝く星。小さな星、暗い星、大きな星、明るい星、みんないろんな点。集まって見える夜空の美しさは、みなさんご存知の通り。今回、蛍光塗料を使って、いろんな点を描きます。描き上げた作品をブラックライトで照らしてみると、自分たちの夜空が輝きだします。完成して、体感する、自分達だけのプラネタリウム。</p>				

130	つながる形、変身する形			
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三			
対象	幼児、小学生	受講者人数	30名程度	
<p>どの家庭にもある洗濯バサミ。つまんで、つまんで、つないで、つないで。簡単に形が広がっていきます。触覚を使って、構成を楽しむにはとても優れた素材です。私はその洗濯バサミを4,000個ほど持っています。4,000個使ったら、それはどんな姿になるでしょうか。手を使って形作る、構成遊びです。</p>				

131	多面体で秘密基地			
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三			
対象	年長児、小学生	受講者人数	20名程度	
<p>木の枝等の棒材を使い、多面体の構造を利用して秘密基地を作ります。骨組みのベースができれば、毛糸や葉っぱ、用意できる材料で装飾していくと、だんだんと壁、屋根ができて秘密基地が完成します。出来上がった秘密基地は多面体の構造を利用しているため、丈夫で長持ち、雪がふるとかまくらになるかもしれません。その場に現れるインスタレーション、空間遊びを楽しみましょう。</p>				

132	木片で遊ぼう - 廃材を使って、造形あそび -			
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三			
対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度	
<p>会津地域は木工の盛んな文化圏です。製品として世に出るものの陰に、廃材として捨てられてしまう木片たちがいます。その木片を使って、ロボット作り、パズルづくり、オブジェ制作など、そこにある木片に合わせて造形遊びに利用します。参加者の年齢や制作環境に合わせて、適したプログラムを提案して行います。捨てられてしまうはずだった廃材を利用して、楽しいものづくりを体験しましょう。</p>				

133	色水でインスタレーション		
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三		
対象	幼児、小学生	受講者人数	30名程度
<p>赤、青、黄、三原色からなる色彩表現、色の広がりはとても幅広いです。本講座では色水の作成を通して、色について体験的に学び理解を深めます。作った色水日光に照らされるときれいな色味を伝えます。作品はインスタレーションし、空間表現としての色を体感します。</p>			

134	造形ワークショップ		
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三		
対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度
<p>造形表現は様々なシーンで体験活動が可能です。本講座はご依頼先の対象、環境、予算に合わせて実践内容を検討し提案します。</p>			

135	紙皿を使った共同制作		
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三		
対象	幼児、小学生	受講者人数	20～30名程度
<p>紙皿を三等分して鱗をつくり、鱗のある生き物を共同制作することで大きな作品を制作体験します。制作例としましては、魚、竜、蛇、アマビエ等々鱗があればモチーフになりますので、どんな生き物を制作するかはオーダーに合わせて対応します。</p>			

136	版表現であそぼう		
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三		
対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度
<p>版表現は版を使って繰り返すことでリズムカルな作品作りができます。版はイメージしやすいスタンプ等の凸版の他に、ステンシル等の孔版を使うことで、様々なこども達が楽しむことができます。季節や制作環境に合わせた版表現による遊びを、ご相談に合わせて提案します。</p>			

137	土粘土であそぼう			
講師	幼児教育・福祉学科 准教授 葉山 亮三			
対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度	
<p>紙粘土や油年度、身近な粘土素材は多くありますが、土粘土こそ粘土の原点になります。土粘土は乾燥して固まっても、水を加えて練り直せば何度でも使うことができます。この講座ではただ粘土で遊ぶのではなく、土の塊から粘土を作ることを体験して、根源的な粘土の魅力で遊びます。</p>				

138	幼児期および児童期における体力の現状と体力向上への取り組みについて			
講師	幼児教育・福祉学科 講師 渡部 琢也			
対象	一般（保育士、幼児保護者、児童保護者）	受講者人数	40名程度	
<p>幼児期および児童期における体力の現状についての理解と発育段階における体力・運動能力の特徴を理解することを目的とします。体力・運動能力を向上するに当たり、取り組むべき内容についても理解していきたいと考えます。理論編と実践編および理論実践編のプログラムがあります。</p>				

139	体づくり運動			
講師	幼児教育・福祉学科 講師 渡部 琢也			
対象	小学生・中学生・高校生・一般（小中高教諭、児童保護者、運動指導者等）	受講者人数	40名程度	
<p>学校教育における体育の体づくり運動について理解を深めます。体づくり運動に含まれる多様な動きをつくる運動遊びについても学びます。幼児期から児童期における必要となる運動について理解を深めます。理論編と実践編および理論実践編のプログラムがあります。</p>				

140	幼児における発育発達を考慮した運動指導について			
講師	幼児教育・福祉学科 講師 渡部 琢也			
対象	一般（保育士、幼児保護者、児童保護者）	受講者人数	40名程度	
<p>幼児における運動指導に関しては、参考となるエビデンスが様々存在する。これまで幼児教育に携わる指導者と意見を交換してきたが、理論と実践が上手くつながっていない、理解されていないと思われることが多々見受けられる。これらをつなげるべく発育発達を考慮した運動の指導法について、実技を交えて理解を深める。</p>				

141	子どもの権利って何だろう？			
講師	幼児教育・福祉学科	講師	佐々木 誠二	
対象	小学生・中学生・高校生・保護者（PTA）	受講者人数	上限なし	
<p>「子どもの権利条約」で決まっている「子ども」は18歳になっていないすべての人たちのことを言います。みなさんは「子どもの権利」ってなんだろうと考えたことはありますか。「子どもの権利」について「わかった」を増やしていきませんか？ ※具体的な内容をご相談ください。</p>				

142	子どもの権利擁護って何だろう			
講師	幼児教育・福祉学科	講師	佐々木 誠二	
対象	保育士・幼稚園教諭・社会福祉士・社会的養護関係者・保護者（PTA）	受講者人数	上限なし	
<p>児童福祉法にも「子どもの権利」が明記され、子どもが権利の主体として位置付けられました。多忙であればあるほど、「子どもの権利」について振り返る機会が少ないのかもしれませんが。改めて「子どもの権利」について一緒に考え、理解を深めてみませんか。 ※具体的な内容をご相談ください。</p>				

143	施設内虐待の予防			
講師	幼児教育・福祉学科	講師	佐々木 誠二	
対象	社会的養護関係者	受講者人数	上限なし（応相談）	
<p>児童養護施設など社会的養護の施設では虐待を受けてきた子どもや発達障害の特性を抱える子どもが増えてきています。限られた人数で多くの子どもの養育に携わることはとても大変で時にストレスフルになることがあります。子どもから暴言や暴力を向けられることもあるかと思えます。そのような状態が積み重なっていくと、施設内虐待が発生する危険性が高まります。今どのような状態かを見つめ、どのような工夫があれば施設内虐待を予防できるのか、考えてみませんか。 ※具体的な内容をご相談ください。</p>				

144	子ども虐待って何？（基本編）			
講師	幼児教育・福祉学科	講師	佐々木 誠二	
対象	高校生・保護者（PTA）・学校関係者・保育士・幼稚園教諭・一般	受講者人数	上限なし	
<p>子どもの人権を傷つける行為である虐待。ニュースや新聞で目にする機会があります。しつけとどう違うの？、虐待をしてしまうのはどうして？、どうすれば虐待を防ぐことができるのだろう、虐待をされた子どもをどのように支援すればよいのだろう、と虐待について改めて考えてみませんか。 ※具体的な内容をご相談ください。</p>				

145	虐待を防ぐ子育てとは			
講師	幼児教育・福祉学科	講師	佐々木 誠二	
対象	高校生	受講者人数	上限なし（応相談）	
<p>間もなく社会人になる高校生の皆さんは将来、自分がどのような父親・母親になるだろうと考えたことがありますか？          ニュースで取り上げられる子ども虐待は悲惨な事件ですが、虐待をしてしまう保護者はどこにでもいるような父親や母親ということが多いのです。</p> <p>「どうすれば、虐待にならない子育てができるのだろうか？」「これってしつけ？虐待？」など、福祉の視点で、虐待を防ぐ子育てについて、理解を深めませんか？</p>				

146	子ども虐待への対応			
講師	幼児教育・福祉学科	講師	佐々木 誠二	
対象	一般（学校教員・市町村職員・民生委員など）	受講者人数	上限なし（応相談）	
<p>これって虐待なの？要保護児童対策地域協議会の運営って？通告後の対応はどうなっているの？など、子ども虐待の対応に慣れていなくても、慣れていても、常に迷いがあると思います。どう対応すればよいのだろうかということについて理解を深めてみませんか？</p> <p>※具体的な内容をご相談ください。</p>				

147	子ども・若者支援からはじめるコミュニティづくり			
講師	幼児教育・福祉学科	講師	高田 正哉	
対象	高校生～一般	受講者人数	上限なし	
<p>現在、こども・若者支援がコミュニティづくりで重要視されています。本講座では、こども・若者支援が中心となるコミュニティづくりについて、その理念と実践のあり方について広く講義します。本講座では、講義型の授業もできますが、ワークショップ等の対話型の授業もできます。その際には、あらかじめご相談いただければ幸いです。</p>				

148	対話型鑑賞をしてみませんか？			
講師	幼児教育・福祉学科	講師	高田 正哉	
対象	全年齢（要相談）	受講者人数	5名程度～	
<p>この講座は、日本各地の美術館・博物館で広く行われている「対話型鑑賞」（対話型美術鑑賞）を行うものです。「対話型鑑賞」は、アメリカ合衆国ニューヨーク州のニューヨーク市にある「ニューヨーク現代美術館」（通称MoMA）で開発された教育法です。現在、世界各地でこの方法を用いた教育実践が行われています。この教育では、子どもたちが美術品等の対象を深く分析し、言葉にして伝え合うという、コミュニケーション能力の育成や、鑑賞能力の育成等が期待されます。</p> <p>この講座では、美術作品や博物館収蔵品等、震災遺産を用いた対話型の教育プログラムを実施することができます。具体的な方法や場所等は、相談しながら決定したいと思います。</p>				

149	哲学対話をしてみませんか？			
講師	幼児教育・福祉学科	講師	高田 正哉	
対象	全年齢（要相談）	受講者人数	5名程度～	
<p>現在、日本全国、そして世界中で、「哲学対話」がさかんに実践されています。例えば、「子どものための哲学」（P4C）は、福島県内の小中高の学校で実践されています。加えて、社会教育でも「哲学対話」は各地で実践されています。哲学対話は、道徳教育の実践や、コミュニティでの対話等で広く行われています。哲学対話では、あるテーマについて深く考え、お互いの考え方を伝え合うことで、コミュニケーション能力や、他者への共感力などが育まれることが期待されています。</p> <p>実際の講座では、哲学対話を学校・団体の中で行います。講座の内容、テーマ、参加者等は、皆さまの相談次第で決められます。哲学対話のやり方を学ぶ研修会や、子どもや高齢者、障がい者の方々へ向けた哲学対話も行うことができます。</p>				

### 13 教養に関連する講座

150	アフリカの食文化と農業			
講師	産業情報学科	准教授	成澤 徳子	
対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし	
<p>多様な気候と植生が分布するアフリカ大陸では、それぞれの環境に適した農業と食文化が人びとの暮らしによって育まれてきました。主食をとっていても、雑穀やイモ類、トウモロコシ、バナナ、米など地域によって多様で、お酒を主食にしている民族もいます。私の現地での体験を踏まえて、アフリカの食材の種類、栽培や調理方法、食事の作法に至るまで、現地の豊かな食文化と在来農業についてお話しします。</p>				

151	器楽合奏と楽器（コントラバス）のレッスン			
講師	幼児教育・福祉学科	教授	河原田 潤	
対象	主に中・高・一般の方	受講者人数	要相談	
<p>職業音楽家としてのキャリアを生かし、器楽合奏（主にオーケストラ・アンサンブル）や、専門であるコントラバスのレッスンと一緒に勉強してスキルの向上を目指します。</p>				

152	英語発音トレーニング			
講師	幼児教育・福祉学科	教授	若林 達司	
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	少人数～多人数対応可	
<p>題名の通り、英語発音のトレーニングを行います。自分の発音のどこがよくないのか？どんなふうに発音すればいいのか？発音のコツは？発音が上手くなればリスニングの力も一緒に上がります。正しい発音は正確なリスニングに通じる。今後の英語学習の仕方を英語発音トレーニングのワークショップも交えながらお話ししたいと思います。</p> <p>また、講座の内容については、子音のトレーニング中心にしたものや、母音を徹底的に練習するもの、英詩や文学作品の抜粋をマテリアルにしたものなど様々な内容を準備していますのでご相談ください。</p>				

153	筆記体で書いてみよう			
	講師	幼児教育・福祉学科	教授	若林 達司
	対象	中学生・高校生	受講者人数	10～15人程度（できれば少人数）
<p>英語の筆記体、書けますか？ 筆記体で書けなくてもブロック体で十分、ICTが普及した今の時代にそもそも手書き文字を練習する必要はあるのか？など筆記体への視線は冷ややかになっています。必要性の度合いを考えればできなくてもいいと言えますが、敢えて筆記体に挑戦してみようという講座です。筆記体を書ければ英語好きになるかもしれません。練習用の教材などはこちらで準備します。</p>				

154	障害・特別支援教育・発達支援に関する講座			
	講師	幼児教育・福祉学科	准教授	五十嵐 一徳
	対象	一般	受講者人数	20名程度（応相談）
<p>本講座では、障害のある方々への理解を深め、日々の支援や教育実践に生かせる知識と視点を分かち合いたいと思っております。</p> <p>【内容例】</p> <p>特別支援教育の基礎、個別のニーズに応じた支援計画の立案、コミュニケーション支援、環境調整、行動理解など。詳細は事前の打ち合わせにて、ご要望に沿ったテーマを柔軟に設定いたします。また、講座の形式も、目的や参加者の構成に合わせて「講演形式」「演習」「事例検討」「個別相談」などから一緒に考えていきます。</p>				

155	哲学対話をしてみよう！			
	講師	幼児教育・福祉学科	講師	高田 正哉
	対象	中学生～一般	受講者人数	上限なし
<p>哲学対話とは、日常生活での「なぜ？」を考える対話の場です。そのテーマは、「生命」「正義」「愛」などの広く考えられるテーマから、日常生活のささいなギモンまで、どのような問いでも大丈夫です。日常生活で考えたいけど考えられない、対話したいけど、時間も場所もない・・・そんな方々が、ゆっくりとていねいに対話できる場をつくります。テーマややり方など、気軽にご相談ください。</p>				

156	「地表における食物成分の循環」			
	講師	特任研究員	眞鍋 久	
	対象	小学生・中学生・高校生	受講者人数	上限なし
<p>私たちは、日々、食物を口にしています。食物には様々な栄養成分が含まれており、摂取した食物中の各成分は、消化器官で消化・吸収されたあと、細胞内に取り込まれて代謝されます。これらの代謝物は、体成分にされたり分解されたりしながらそれぞれの役目を果たします。その後、関連成分は地表に放散されます。次いで、微生物等により無機化され、さらには植物等により同化されたあと、動植物を介して食物にかえられます。私たちはその食物を摂取しますが、食物中の各成分のその後のゆくえは、上述したとおりです。これらから、食物成分は地表で循環していることがわかります。こうした食物成分の循環サイクルが滑らかに稼働すれば、地表における環境悪化の低減化につながります。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>				

157	食べ物の栄養素を化学の目でとらえてみませんか。			
	講師	特任研究員 眞鍋 久		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	<p>食べ物の栄養素には、三大栄養素である「炭水化物」「脂質」「たんぱく質」に「ビタミン」および「ミネラル」を加えた、五大栄養素があります。本講座では、各栄養素を「化学」の視点に立って、順次わかりやすく解説していきます。今回は、ご要望の栄養素について解説しますのでお聞かせください。食科学を系統的に学びたい方や食科学の知見を深めたい方におすすめの講座です。</p>			

158	効果的な外国語学習のコツ			
	講師	特任研究員 石光 真		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	<p>英語ドイツ語フランス語ロシア語中国語の通訳ガイド資格や検定合格歴を持ち、退職後中高生に英語を教えている非常勤講師が、効果的な外国語勉強のコツを伝授します。</p>			

159	ホワイトボード・ミーティング®			
	講師	研究員 関谷 央子		
	対象	一般	受講者人数	20名程度
	<p>ホワイトボードを活用して進める話し合いの方法であるホワイトボード・ミーティング®の手法を学びます。防災・福祉をテーマにした講座実績がありますが、対話が必要なあらゆる分野で使える手法です。「定例進捗会議」、「企画会議」、そして「役割分担会議」の3つのフレームを学ぶことができます。対話的で深い情報共有をしながら、体系的なファシリテーション技術を身につけていきましょう。</p>			